

## Can-do リスト

コースの前とコースのあとにチェックを入れて、できることを比べてみましょう。

### ● Content 内容

✓	✓	No.	Can-do	主なUNIT
✓	✓	1	世界の現状と課題について知りたい。	1
✓	✓	2	貧困の現状について知っている。	2
✓	✓	3	貧困の原因や背景を知っている。	2
✓	✓	4	「シエラレオネ」を知っている。	3, 4, 5
✓	✓	5	国際協力の現場やしぐみについて知っている。	4, 5
✓	✓	6	「社会起業家」を知っている。	6
✓	✓	7	社会起業家の活動について知っている。	6, 7, 8
✓	✓	8	社会起業家の活動の課題について知っている。	6, 7, 8
✓	✓	9	貧困に対する支援の方法について知っている。	6, 7, 8
✓	✓	10	貧困に対する自分ができる支援の方法について知っている。	9

### ● Communication 言語

✓	✓	No.	Can-do	主なUNIT
✓	✓	11	世界の現状や支援に関する資料を読むことができる。	4, 5, 6, 7, 8
✓	✓	12	読んだ資料をわかりやすくまとめてポスターを作ることができる。	3
✓	✓	13	読んだ資料をわかりやすくまとめてレジюме（発表資料）を作ることができる。	4, 5
✓	✓	14	読んだ資料をわかりやすくまとめてスライドを作ることができる。	7
✓	✓	15	貧困に関することばを知り、他の人にわかりやすく説明することができる。	2, 3, 4, 5, 8
✓	✓	16	わかりやすい発表をすることができる。	3, 5, 8
✓	✓	17	ディスカッションをすることができる。	8
✓	✓	18	発表を聞いて質問をすることができる。	3, 4, 5, 8
✓	✓	19	作文やレポートで自分の意見を書くことができる。	1, 10
✓	✓	20	発表、作文やレポートを評価することができる。	5, 7, 8

● Cognition 思考

✓	✓	No.	Can-do	主なUNIT
✓	✓	21	世界の現状や課題と自分との関わりについて客観的に整理できる。	1, 9
✓	✓	22	資料を読んで重要な情報を取り出し、まとめることができる。	4, 5
✓	✓	23	どのような発表、作文やレポートがよいかを理解している。	5, 7
✓	✓	24	発表、作文やレポートの準備を計画的にすることができる。	6
✓	✓	25	自分と他の人の資料の読み方や説明のしかたを比較することができる。	4, 5
✓	✓	26	他の人と話し合いたいこと（ディスカッション・ポイント）を見つけることができる。	6, 7
✓	✓	27	他の人の発表や意見を聞いて、疑問点やもっとくわしく知りたいことを考えられる。	8
✓	✓	28	問題を解決するための方法（貧困に対する支援など）や課題を考えられる。	9
✓	✓	29	問題を解決するための行動を考えることができる。	9
✓	✓	30	学ぶ前と学んだあとの自分の考えを比べる。	10

● Community/Culture 協学・異文化理解

✓	✓	No.	Can-do	主なUNIT
✓	✓	31	ディスカッション・ポイントについて積極的に話し合うことができる。	7, 8
✓	✓	32	ペアやグループで発表の準備をすることができる。	3, 4, 5, 7
✓	✓	33	他の人の発表を聞いて質問することができる。	3, 8
✓	✓	34	他の人の発表やレポートを評価することができる。	5, 8
✓	✓	35	世界の現状と課題に関心を持つ。	1, 2
✓	✓	36	世界の問題と自分とのつながりに気づくことができる。	1, 9
✓	✓	37	異なる環境に住む人々について関心を持つ。	1, 3, 4, 5
✓	✓	38	他の人の価値観を認めることができる。	8, 9
✓	✓	39	世界の問題を解決する方法に関心を持つ。	6, 7, 8, 9
✓	✓	40	世界の問題を解決するために、他の人や自分ができていることに気づくことができる。	9